

令和 8 年 7 月 8 日

座間市議会議員  
松橋 淳郎 殿

委員会名  
又は会派名 座間市公明党

氏 名 伊藤 多華

### 市議会議員のためのハラスメント研修所感

座間市議会議員を対象としたハラスメント研修を7月8日に受講しました。近年、ハラスメントは社会全体で大きな問題となっており、企業や行政だけでなく、議会においても決して他人事ではありません。議員は市民の皆様から負託を受け、市政を担う立場であるからこそ、自らの言動に対して高い倫理観と責任が求められます。私自身も、改めて初心に立ち返り、一つ一つの言葉や行動の重みを考える大変貴重な機会となりました。

今回の研修では、パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントをはじめ、さまざまなハラスメントの基本的な考え方や、実際に裁判となった事例を通して、議員として留意すべき点について学びました。特に印象に残ったのは、「悪気はなかった」「冗談のつもりだった」という加害者側の思いではなく、相手がどのように受け止めたかという視点が重要であるということです。自分では何気なく発した言葉や何の気なしに取った行動であっても、相手を傷つけ、人格や尊厳を損なう結果となれば、それはハラスメントになり得ます。また、議員という立場は社会的影響力が大きく、その発言や行動には一般の人以上に重い責任が伴うことを改めて認識しました。

研修では、自らの言動を振り返るセルフチェックも行われました。日頃の何気ない行動や思い込みが、知らず知らずのうちに相手へ精神的な負担を与えてしまう可能性があることを学び、「自分は大丈夫」と思い込まず、常に自らを見つめ直す姿勢が大切であると感じました。相手を尊重し、節度ある言動を心掛けることこそが、信頼関係の基本であることを改めて実感しました。

私は、あらゆるハラスメントは決して許されるものではないと考えています。中でも、相手の尊厳や人格を踏みにじるセクシュアルハラスメントは、人権を侵害する極めて悪質な行為であり、いかなる理由があっても容認することはできません。「昔は当たり前だった」「冗談だから」という言い訳は、今の時代には通用しません。一人ひとりが相手の立場に立って考え、お互いを尊重し合う社会を築いていくことが何より重要です。

議会は、市民の皆様の暮らしをより良くするために議論を重ねる場です。その議会自体が市民の皆様から信頼される存在でなければなりません。私自身も今回の研修で学んだことをしっかりと胸に刻み、市民の皆様、市職員、そして議員同士が互いを尊重し、安心して意見を交わせる環境づくりに努めてまいります。

これからも一人の議員として常に自らを律し、市民の皆様から信頼される議会、そして信頼される議員を目指して、誠実に議員活動に取り組んでまいります。